

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスのぱりかわ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1			
	2	職員の配置数は適切である	9				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	2		身体障害をもつ利用者が現在はいなくて、今後随時対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2		ミーティング等の場でアンケート調査の保護者等の意向を職員間で共有している。	今後もこれまで以上に、保護者の意向の共有を意識し共通認識で業務改善に努めていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		定期的に児童発達についてや、虐待防止の研修へ参加ができる機会を作っている。	職員全体で参加ができる研修が減っていたため、今後は全体で参加できる研修を取り入れたり、企画できたらなと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			ミーティング等で職員全体で新しい活動や遊びを取り入れれるよう話し合いを繰り返しようにしている。	夏休み等の長期休暇では新しい活動や遊びに挑戦しやすいため、活動が固定化しないよう心掛けて立案していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		事前に二人のリーダーを設けており、その日の支援が安全に進むようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4			終了後、必ず振り返りができるわけではないので確実に共有すべき事の周知徹底はしていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	1			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			変更点・トラブル等あれば、学校と共有し連絡調整を行っている。	引き続き、情報の共有は徹底していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4			
	25	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	2		これまでには機会をもつ事ができなかったが、今後は地域の学童クラブなど交流できる活動も考えていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	7	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			日頃から、子どもの様子の共有をし、成長して事、挑戦してみた事を情報交換するように心掛けている。	今後も会議だけではなく、日頃から自宅の様子、ディでの様子を共有し、本人たちの頑張りを感じ今後の課題につなげれるような話し合いをしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	2		今後、コロナ渦が緩和していく中で、以前の様に保護者会を企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3			
	35	個人情報に十分注意している	9				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	2		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			隣接する事業所とも連携をとり、同時に一緒に決行するようにしている。	火災をメインにしているが、地震などその他の非常災害の避難訓練も取り入れていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	2			現在、やむをえない身体拘束が必要な児童はないが、今後必要となれば確実にサービス計画に記載し保護者とも連携をとっていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			アレルギー一覧表として名簿を用意し、隨時掲示している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			毎月の職員ミーティングで確実にヒヤリハットの有無や、ヒヤリハットを防ぐための話し合いを設けている。	